



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 ワイエイシーホールディングス株式会社

コード番号 6298 URL http://www.yac.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺本 和政 TEL 042-546-1161

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	12,033	△30.3	233	△60.0	310	△8.3	151	△42.6
29年3月期第2四半期	17,264	55.5	584	26.6	338	△26.9	263	11.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 191百万円 (171.8%) 29年3月期第2四半期 70百万円 (△71.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	16.92	16.78
29年3月期第2四半期	29.49	29.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	35,788	14,191	39.0
29年3月期	32,470	14,047	42.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 13,955百万円 29年3月期 13,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
30年3月期	—	10.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	18.8	2,000	93.0	1,500	33.6	1,000	26.5	111.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期2Q	9,706,877株	29年3月期	9,674,587株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	745,801株	29年3月期	745,801株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期2Q	8,936,549株	29年3月期2Q	8,928,786株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用の改善を背景に個人消費が順調に推移するなど、堅調な成長が続きました。欧州では個人消費が牽引し、底堅く推移しました。中国においても個人消費や輸出が堅調に推移するなど、総じて着実な回復基調で推移しました。一方で、北朝鮮を巡る軍事的緊張が高まっており、警戒感や先行き不透明感が広がっております。

日本経済においては、政府・日銀による経済政策を背景に、雇用が着実に改善し、個人消費も堅調に推移するなど、総じて着実な回復基調で推移しました。

このような経済状況のもとで、当社グループは、刻々と変化する顧客ニーズを捉えた装置の開発と市場化に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高120億33百万円(前年同四半期比30.3%減)、営業利益2億33百万円(同60.0%減)、経常利益3億10百万円(同8.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億51百万円(同42.6%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(ディスプレイ関連事業)

エッチング装置及びアニール装置の売上遅れ等により、前年第2四半期連結累計期間の実績に対して減少しました。

これらの結果、ディスプレイ関連事業の売上高は41億84百万円(同59.8%減)となり、セグメント損失は2億19百万円(前年同四半期はセグメント利益5億32百万円)となりました。

(メカトロニクス関連事業)

前連結会計年度下期より連結対象となったワイエイシイエレックス株式会社が当連結会計年度においては期初から業績に寄与しているため、業績は総じて堅調に推移しました。

これらの結果、メカトロニクス関連事業の売上高は72億20百万円(同18.0%増)となり、セグメント利益は3億78百万円(同5.2%増)となりました。

(クリーニング関連その他事業)

クリーニング関連装置分野においては、国内のクリーニング需要の減少傾向が続く厳しい環境の中、微減となりました。

これらの結果、クリーニング関連その他事業の売上高は6億29百万円(同14.6%減)、セグメント損失は85百万円(前年同四半期はセグメント利益1億9百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は283億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億66百万円増加しました。主な増加要因は仕掛品21億33百万円、現金及び預金19億15百万円、有価証券9億6百万円であり、主な減少要因は受取手形及び売掛金10億64百万円であります。固定資産は74億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億48百万円減少しました。主な減少要因は投資有価証券8億29百万円であります。その結果、総資産は357億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億18百万円の増加となりました。

(負債)

流動負債は146億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億50百万円増加しました。主な増加要因は支払手形及び買掛金26億53百万円、短期借入金7億92百万円、前受金2億19百万円であります。固定負債は69億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億75百万円減少しました。主な減少要因は長期借入金6億33百万円であります。その結果、負債は215億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億74百万円の増加となりました。

(純資産)

純資産は141億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億43百万円増加しました。その結果、自己資本比率は39.0%(前連結会計年度末は42.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想(通期)につきましては、平成29年5月15日に公表いたしました通期連結業績予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,984,055	8,899,968
受取手形及び売掛金	10,866,732	9,802,258
有価証券	48,330	955,325
商品及び製品	541,522	553,405
仕掛品	4,168,856	6,302,251
原材料及び貯蔵品	963,999	1,055,079
繰延税金資産	324,840	415,075
その他	505,288	473,240
貸倒引当金	△95,527	△81,781
流動資産合計	24,308,097	28,374,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,618,681	3,728,412
減価償却累計額	△2,742,811	△2,778,077
建物及び構築物（純額）	875,869	950,335
機械装置及び運搬具	1,867,903	1,917,352
減価償却累計額	△1,439,912	△1,463,195
機械装置及び運搬具（純額）	427,990	454,156
工具、器具及び備品	2,950,820	2,955,235
減価償却累計額	△2,482,475	△2,520,546
工具、器具及び備品（純額）	468,345	434,689
土地	3,080,922	3,080,922
リース資産	145,805	123,752
減価償却累計額	△72,932	△61,802
リース資産（純額）	72,873	61,950
建設仮勘定	520,314	560,693
有形固定資産合計	5,446,315	5,542,747
無形固定資産		
のれん	692,593	625,869
ソフトウェア	88,344	88,090
リース資産	11,681	33,844
電話加入権	20,716	20,716
特許実施権	72,000	54,000
その他	4,921	4,798
無形固定資産合計	890,256	827,320
投資その他の資産		
投資有価証券	1,257,941	468,109
長期貸付金	3,884	3,157
繰延税金資産	203,992	188,605
長期滞留債権等	171,276	181,292
その他	387,357	407,602
貸倒引当金	△198,593	△204,896
投資その他の資産合計	1,825,859	1,043,870
固定資産合計	8,162,431	7,413,937
資産合計	32,470,528	35,788,761

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,516,225	8,169,234
短期借入金	3,788,223	4,580,464
リース債務	30,510	33,532
未払法人税等	79,324	102,087
賞与引当金	375,133	369,955
製品保証引当金	132,013	104,100
未払費用	362,790	412,139
前受金	388,840	607,861
その他	234,355	278,096
流動負債合計	10,907,416	14,657,471
固定負債		
社債	700,000	700,000
長期借入金	5,369,270	4,735,733
長期未払金	12,983	23,883
リース債務	57,719	72,338
繰延税金負債	118,538	122,675
役員退職慰労引当金	83,319	75,764
退職給付に係る負債	1,073,708	1,109,730
資産除去債務	71,412	69,655
その他	28,448	30,448
固定負債合計	7,515,400	6,940,228
負債合計	18,422,817	21,597,700
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756,680	2,778,669
資本剰余金	3,586,282	3,608,272
利益剰余金	8,296,798	8,358,732
自己株式	△638,014	△638,014
株主資本合計	14,001,747	14,107,659
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,106	114,134
為替換算調整勘定	△258,386	△251,520
退職給付に係る調整累計額	△13,138	△15,491
その他の包括利益累計額合計	△203,417	△152,878
新株予約権	46,982	51,677
非支配株主持分	202,399	184,602
純資産合計	14,047,711	14,191,061
負債純資産合計	32,470,528	35,788,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	17,264,769	12,033,570
売上原価	14,455,509	9,345,793
売上総利益	2,809,260	2,687,777
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	752,867	853,524
賞与引当金繰入額	102,387	88,631
福利厚生費	29,300	34,341
賃借料	66,432	76,964
業務委託費	51,158	81,184
研究開発費	209,988	280,780
減価償却費	114,658	112,824
その他	898,102	926,024
販売費及び一般管理費合計	2,224,894	2,454,273
営業利益	584,365	233,503
営業外収益		
受取利息	8,375	9,943
受取配当金	5,948	22,493
受取賃貸料	7,042	5,770
貸倒引当金戻入額	—	53,848
その他	10,004	23,333
営業外収益合計	31,371	115,388
営業外費用		
支払利息	33,732	26,559
為替差損	232,135	371
ファクタリング料	4,311	560
その他	7,210	11,284
営業外費用合計	277,388	38,776
経常利益	338,348	310,115
特別利益		
固定資産売却益	4,493	1,502
負ののれん発生益	20,829	—
その他	3	11
特別利益合計	25,326	1,514
特別損失		
固定資産除売却損	4,630	5,277
子会社清算損	—	10,182
事業構造改善費用	—	56,362
その他	6	—
特別損失合計	4,637	71,822
税金等調整前四半期純利益	359,036	239,807
法人税、住民税及び事業税	165,309	185,008
法人税等調整額	△81,815	△86,369
法人税等合計	83,493	98,639
四半期純利益	275,543	141,167
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	12,267	△10,053
親会社株主に帰属する四半期純利益	263,276	151,221

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	275,543	141,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,650	46,104
為替換算調整勘定	△212,809	6,865
退職給付に係る調整額	270	△2,353
その他の包括利益合計	△204,887	50,616
四半期包括利益	70,655	191,784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58,350	201,761
非支配株主に係る四半期包括利益	12,304	△9,976

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

重要な設備投資

当社は、平成29年10月17日開催の取締役会において、以下のとおり新工場建設に係る設備投資計画を決議しております。

1. 設備投資の目的

当社の連結子会社であるワイエイシイテクノロジーズ株式会社の生産拠点確保のため。

2. 設備投資の概要及び時期

- (1) 名称 : ワイエイシイホールディングス株式会社 富士鳴沢工場 (仮称)
- (2) 所在地 : 山梨県南都留郡鳴沢村字ジラゴンノ8532番315
- (3) 初期投資額 : 平成30年3月までに約4億円 (建物及び附属設備、機械設備等)
- (4) 敷地面積 : 約5,282㎡
- (5) 工場面積 : 約1,515㎡
- (6) 生產品目 : ドライエッチング装置
- (7) 建屋着工 : 平成29年12月上旬予定
- (8) 建屋完成 : 平成30年3月中旬予定

3. 当該設備が営業・生産活動に及ぼす重要な影響

当期の連結業績に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ディスプレイ 関連事業	メカトロニクス 関連事業	クリーニング その他関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	10,407,317	6,120,976	736,475	17,264,769	—	17,264,769
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,407,317	6,120,976	736,475	17,264,769	—	17,264,769
セグメント利益	532,284	359,531	109,960	1,001,775	△417,410	584,365

(注) 1. セグメント利益の調整額△417,410千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、ミュキエレックス株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「メカトロニクス関連事業」のセグメント資産が2,274,632千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当第2四半期連結会計期間において、ミュキエレックス株式会社の株式取得により「メカトロニクス関連事業」セグメントにおいて20,829千円の負ののれんの発生益を計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ディスプレイ 関連事業	メカトロニクス 関連事業	クリーニング その他関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	4,184,103	7,220,321	629,145	12,033,570	—	12,033,570
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	14,052	420	2,401	16,874	△16,874	—
計	4,198,155	7,220,741	631,546	12,050,444	△16,874	12,033,570
セグメント利益 又は損失（△）	△219,933	378,236	△85,472	72,830	160,673	233,503

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額160,673千円は、各報告セグメントに配分しない全社収益及び全社費用であります。全社収益は主に各報告セグメントに帰属する連結子会社からの経営管理料等574,674千円であります。また、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用△414,001千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度において、ディスプレイ関連事業及びメカトロニクス関連事業での一部受注装置の不採算案件や納期遅れ等により、営業損失1億42百万円となり、この結果3期連続で営業損失となりました。このような状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

しかしながら、当社は、平成29年4月1日付で、会社分割による持株会社制に移行しており、当事業年度以降は、営業利益の計上が見込まれております。また、メイン銀行を中心とした取引金融機関よりの支援体制も十分であり、加えて当社グループ内でのキャッシュ・マネジメント・システム導入により、グループ各社の資金を効率的に活用してまいります。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。